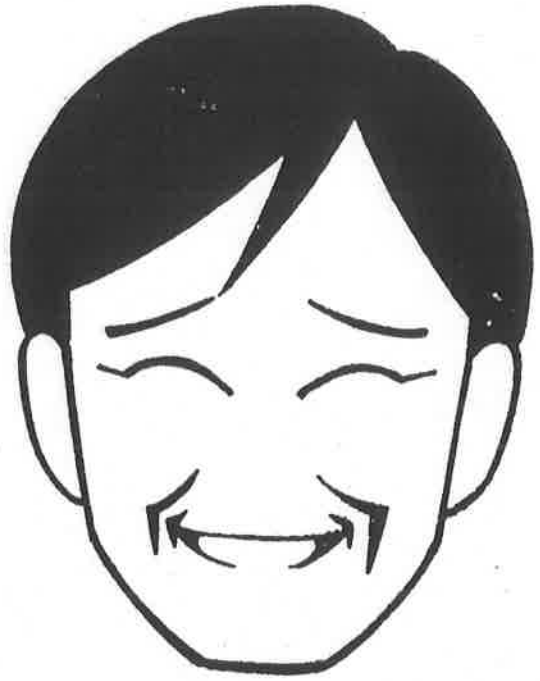


梶尾 真治 (特別賞)

一九四七年熊本市生まれ

SF作家

カジオ貝印石油社長



小学生のときからSFファンで、中学校二年で同人誌に投稿する。

福岡大学卒業後、実家と同業の石油特約店に入社。二年後に帰郷して家業のカジオ貝印石油に入社。勤務の傍ら、SFを書き続ける。

一九七一年 作品が早川書房出版のSFマガジンに掲載され、プロ作家としてデビューを果たす。

一九七九年 「地球はプレインヨーグルト」で、年間に発行される作品の中から読者が選出する、『星雲賞日本短編部門賞』を受賞。

一九八四年 「未踏惑星キー・ラーゴ」で『熊日文学賞』を受賞。

一九九一年 『第十二回日本SF大賞』（日本SF作家クラブ主催、徳間書店後援）を「サラマンダー殲滅」（朝日ソノラマ）により受賞。

この賞は、過去一年間に発行された単行本の中から最も優れたSF作品に贈られる。「サラマンダー殲滅」では、ハードなアクションの連続するスペース・オペラの中に、女性主人公たちの人間的成長の物語りを織りこみ、新境地を開いたところが評価された。

（本人の御希望により写真の代わりにカットを掲載しました。）